

平成 30 年度 高知理容美容専門学校

自己点検・評価報告書

1. 学校の教育目標

(1) 教育方針

理容師法並びに美容師法による理容師、美容師に必要な技能、知識を習得させるとともに、心身ともに健康で有為な社会人、職業人を養成することを目標とした教育活動を展開する。

『そのための基盤として』

- ①学生一人一人へのきめ細かな対応を行う。
- ②家庭、関係機関（者）、地域等との連携を行う。
- ③教職員の研鑽に務める。

(2) 活動理念

①社会力を一層伸ばしていく

現代社会から求められているのは、豊かな教養の上に高度な専門性を身につけた人材。

物事のとらえ方や多彩な知識を習得し常に自己を高めていく姿勢を身につけることで、自らの判断で将来を切り開く能力を身につけた、社会に貢献できる人材を育成する。

②品性を高める努力を行う

品性とは「目でみることのできる心のかたち」であり、『豊かな心』『感謝する心』『恥を知る心』を持ち、相手の気持ちを察する思いやりを持った人材を育成する。

③問題解決能力を養う

現代社会の複雑な状況下で、問題や課題を適格に把握し、大きく広い視点で物事をとらえ分析し、現実的かつ建設的に解決策を立て実行することの出来る総合的な能力を身につけた人材を育成する。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

(1) 挨拶・礼儀作法の徹底

日常から繰り返し指導することで習慣になるよう導く。また、教職員自身が実践することで学生たちの見本となれるように務める。

(2) 学生の自己啓発に務める。(自主性・主体性を養う)

何事においても学生一人一人が自分主導で物事に取り組めるよう指導する。

(3) 時間を守る

決められた中で指導が完結（清掃を含む）できるように時間を有効活用する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1). 教育理念・目標

1-1 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	適切…4、ほぼ適切…3、 やや適切…2、不適切…1
教育目標および本年度重点的に取組む目標に沿った指導を行っている。	4 (3) 2 1
1-2 学校における職業教育の特色は何か	
職業人として必要な専門知識・技術指導はもちろん、その土台となる社会性についても身につける指導をしている。	4 (3) 2 1
1-3 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	
『業界および学校』の現状や将来的な展望を考え、日々の業務に取り組んでいる。	4 (3) 2 1
1-4 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	
入学ガイダンスや入学後のオリエンテーション、また、三者面談などで伝えている。	4 (3) 2 1
1-5 教育目標、育成人材像は、業界のニーズに向けて方向づけられているか	
業界のニーズに対応したカリキュラムで指導している。	4 3 (2) 1

① 課題

- 業界と教員の接点がない。
- 業界のニーズと学校カリキュラムでは温度差があるのが実情。
- 生徒一人一人の自主性・主体性の引き出し方。
- 業界・地域等、外部から生徒に対して指導・関わりが少ない。
- 活動理念・社会力・品性・問題解決能力等。

② 今後の改善方策

- 現在の業界経営・スタッフ教育をどのようにしているかを、教員・生徒が質問できる場を作ってみては。
- 各委員会や業界からの話も聴き取りながら、学校カリキュラム等の方向も理解してもらい取り組みが必要。
- 外部との関わりが生徒に刺激になり、成長にもなるのでは。
- 教職員自身の実践。
- 豊かな心、感謝する心、恥を知る心、思いやりのある言動・行動を心がける。

③ 特記事項

(2). 学校運営

2-1 目的等に沿った運営方針が策定されているか	
年度始めの職員会において、理事長・学校長より発表された当年度の目標について、全教職員が共通認識をもって取り組んでいる。	4 (3) 2 1
2-2 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	
事業計画については、運営方針やその年度の目標に沿って策定されている。	4 (3) 2 1
2-3 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか	
役職者の権限や責務について、役割分担が明確化されている。	4 (3) 2 1
2-4 人事・給与に関する規程等は整備されているか	
「就業規則」「給与・旅費規程」等で明確化されている。	4 (3) 2 1
2-5 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	
寄附行為に基づいて、理事会において意思決定を行っている。	4 (3) 2 1
2-6 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	
「就業規則（服務規律）」を定め法令等についても全教職員が遵守している。	4 (3) 2 1
2-7 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	
パンフレットやホームページ、またSNS等で学校活動について情報発信している。	4 (3) 2 1
2-8 情報システム化等に業務の効率化が図られているか	
教務・事務共に業務内容に合わせたシステム管理ソフトを導入し業務の効率化を図っている。	4 (3) 2 1

① 課題

- 就業規則等の説明・共通認識が少々不足…
- ホームページ・SNS発信が不足。
- 運営方針等は策定しているが、教職員各々の認識が違っている。
- 運営については教員は知らされていないので把握できない。
 - SNSではマイナスのイメージも発信してしまうので、気を付けて投稿しなければいけない。

② 今後の改善方策

- 教職員全員が共通認識を持つために、就業規則等の説明をする。
- 教職員全員でSNS等発信する。
- 日々の授業・体験授業など、可能な限り全教員で撮影・SNS投稿など協力して行う。
- 教職員が共通認識できる具体的な策定が必要。
- 全体に呼び掛けても本人が分かっているなければ、個人指導の方がよいのでは。

③特記事項

(3). 教育活動

3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	
実社会で必要とされる知識や技術を習得できるカリキュラムを設定し、社会性やコミュニケーション力を身に付けることを目標とした授業構成を行っている。	4 (3) 2 1
3-2 教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	
各学年・学科・教科において、各担当者が年間の授業計画を作成しそれに沿った授業を行っている。	4 (3) 2 1
3-3 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	
学科ごとに専門知識・技術を学ぶ時間を十分に確保したカリキュラムを設定している。また、毎年のカリキュラムは各学科で検討している。	4 (3) 2 1
3-4 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	
「自己啓発セミナー」や特別授業などを通して社会性や人間性の育成に取り組んでいる。また、業界人からの話を聞くことで明確な将来像を描けるよう取り組んでいる。	4 (3) 2 1
3-5 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	
カリキュラムについては「高知県理容・美容生活衛生同業組合」また、「日本理容美容教育センター」の意見を参考に設定している。	4 (3) 2 1
3-6 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	
約1週間の「理美容室での校外実習」を2年間で数回実施しサロンワークを学んでいる。また、業界人を外部講師として迎え、より実践的な技術習得に取り組んでいる。	4 (3) 2 1

3-7 授業評価の実施・評価体制はあるか	
授業を教員間で見学し合い意見交換し、学校全体で授業改善や資質向上に取り組んでいる。	4 3 (2) 1
3-8 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	
カリキュラム変更等については、業界の経営者の方々の意見を参考に設定している。	4 3 (2) 1
3-9 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	
学生や保護者に対して入学ガイダンスや入学後のオリエンテーションで「入学のしおり・履修について」の資料を用いて説明している。	(4) 3 2 1
3-10 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	
資格取得を目指す教科科目についてはそれに合わせた体系的なカリキュラムを組んでいる。また、科目ごとに授業計画を作成しそれに沿った授業を行っている。	(4) 3 2 1
3-11 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	
各教員が実務経験を活かし指導している。また、日々進歩する技術・知識について自己研鑽に務めている。	4 (3) 2 1
3-12 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	
業界の方や専門分野の担当者を外来講師として委嘱し、質の高い授業を実施している。	4 (3) 2 1
3-13 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	
教職員が自己研鑽できる時間を設定している。また、各研修に積極的に参加し研鑽に務めている。	4 (3) 2 1
3-14 職員の能力開発のための研修等が行われているか	
関連団体等が主催する様々な教職員研修会について、全教職員が積極的に参加している。	4 (3) 2 1

① 課題

- 成績評価等について。
- 教員間のコミュニケーション不足。
- 指導力の向上、知識・技能の向上。
- 教員の資質向上。
- 教員は一人でも授業ができるよう、また、やっただけではなく内容・結果が付いてくるよう取り組む。
- 外部講習を取り入れ、卒業後に即戦力となれるように何が必要かを考える。

② 今後の改善方策

- 入学時のしおりの説明のほか、進級時にも保護者及び生徒へ改めて説明会をしてみてもは。
- 全教職員が責任をもち、課題の向上に努める。
- 外来講師との連携。
- 各種研修への参加等で、気づきやスキル向上を。
- 生徒の為の教育を考えて、目標・計画を立てること。
- 教員、外部講師との技術を通しての意識向上と、コミュニケーション力。
- 業界の授業が今年はほとんど行われていない。最新の知識・技術・社会性をもたすためにも、業界の方々と交流があったほうが良いと思う。

③ 特記事項

- 業界外部講師を、昨年やめたのは何故なのか分からない。

(4). 学修成果

4-1 就職率の向上が図られているか	
1年生の早い時期からサロン説明会や就職フェアに参加することで就職活動に対する意識付けをし、2年生進級前に就職活動を兼ねて実施されるサロンでの校外実習に繋げることで就職率の向上を図っている。	4 (3) 2 1
4-2 資格取得率の向上が図られているか	
国家試験に向けて早い時期に意識を持たせるため、2年生進級後に家庭学習の機会を与え自主性を高めている。また、放課後の時間帯を利用して個別指導を行うことで各種資格取得率の向上を図っている。	4 (3) 2 1
4-3 退学率の低減が図られているか	
出席状況や学習成績について教職員間で情報を共有し学生対応している。また、出席状況が悪い学生については保護者に連絡をとり協力を依頼し、初期段階でその原因を把握し対応することで退学率の低減を図っている。	4 (3) 2 1
4-4 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	
関連団体主催のコンテストや本校のサロン説明会等で一部の卒業生については活躍を把握できている。	4 (3) 2 1
4-5 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	
業界に就職した卒業生から、学校で学んだ知識や技術がどのように活用されているか情報を収集している。また、動向を追跡調査している。	4 (3) 2 1

① 課題

- 卒業生の追跡調査。
- 卒業後の動向を知らずに今はない。

② 今後の改善方策

- 卒業生の現状を把握すること。
- 学生生活でやりたかったこと等、今の学生にさせてあげたいことを、卒業して1～5年目ほどの卒業生に聞けば、教育活動にいかすことができる。

③ 特記事項

- 仕事として話を聞くと、卒業生も話しにくいので、話しやすい場で聞く。

(5). 学生支援

5-1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか				
学生一人一人の就職希望を学年団で把握し対応している。また、迷っている学生に対しては選択基準や選択肢を提示するなど、きめ細やかな就職支援を行っている。	4	3	2	1
5-2 学生相談に関する体制は整備されているか				
学生の少しの変化に対応すべく担任制で学生対応にあたっており、変化の見える学生に対しては声かけを細かく行うことで、教職員から「相談機会」をつくるようコミュニケーションを図っている。	4	3	2	1
5-3 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか				
入学時の経済的負担を軽減する「入学時0円サポート制度」を導入し、学費の分納を可能にしている。また、奨学金等の取り扱いがあることを入学要綱に掲載し周知している。	4	3	2	1
5-4 学生の健康管理を担う組織体制はあるか				
毎年胸部X線写真を学生全員が撮影している。また、通学時や授業中の不慮の事故に対する傷害保険にも加入し、学生の健康管理に努めている。	4	3	2	1
5-5 課外活動に対する支援体制は整備されているか				
1年生で数回の校外実習を行い学生の職業意識の向上に務めている。	4	3	2	1

5-6 学生の生活環境への支援は行われているか	
一人暮らしの学生に対し、学生アパート等の斡旋を行い安心できる生活環境の支援に務めている。	4 3 2 1
5-7 保護者と適切に連携しているか	
欠席や遅刻・早退があれば随時保護者に連絡をとっている。また、出席状況が悪い学生に対しては保護者の協力を依頼し、初期段階でその原因を把握できるよう努めている。	4 3 2 1
5-8 卒業生への支援体制はあるか	
在学時に国家試験を合格できなかった卒業生に対し、国家試験前の対策授業への参加を無料で行い、資格取得まで引続き支援している。	4 3 2 1
5-9 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	
社会人としての生活を意識させるため「挨拶」「礼儀作法」「自主性」など、日々伝えることで職業意識向上を図っている。	4 3 2 1
5-10 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	
高知県専修学校各種学校連合会のキャリア教育推進委員の一員として、県内専修学校と協力しながら県内の高等学校・中学校・小学校で幅広いキャリア教育や職業教育を実施している。	4 3 2 1

① 課題

・高校の評定が事務局にあるのでわからない。(出席率・家族構成など)

② 今後の改善方策

・グループウェアなどで教員・事務の両方が閲覧出来るようにしてはどうか。

③ 特記事項

(6). 教育環境

6-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	
理容師・美容師養成施設指定規則に従い必要な教室・実習室・設備など整備している。	4 (3) 2 1
6-2 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	
実践的なサロンワークを学ぶ事を目的とした「校外実習」を、県内外の理美容室と連携し実施している。	4 (3) 2 1
6-3 防災に対する体制は整備されているか	
複数名の防火管理者を設置し、その下に毎年1回の避難訓練を実施して災害等に備えている。	4 (3) 2 1

① 課題

- 災害について。
- 設備が古くなっている。
- 火災だけでなく、地震や洪水に備えた備蓄などが必要。
- 校内だけでなく、地域の避難場所・避難経路の確認もあれば良いと思う。
- 教室などはあるが、実習などに伴う備品や設備も老朽化してきているので見直す。
- 建物の老朽化。

③ 今後の改善方策

- 地震の場合を想定して、避難場所などを明確にするべき。
- 災害についての講演等があってもいいのでは。
- 今のサロン等で使用している物を入れ、生徒に使用させていく。

③特記事項

-

(7). 学生の受入れ募集

7-1 学生募集活動は、適正に行われているか	
学校案内やホームページで本校の特徴について紹介している。また、広報担当者の高校訪問・進学ガイダンス参加などの活動を通して、入学希望者に情報提供している。より具体的に学習内容や学校生活を理解・体験していただけるように「オープンキャンパス」を実施している。	4 (3) 2 1
7-2 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	
就職率や資格取得率、またコンテスト等での成績を学生募集の対象者に公表している。また、教育成果の広報においては事実を正確に伝えている。	4 (3) 2 1

7-3 学納金は妥当なものとなっているか	
他校の学費水準も把握したうえで理事会の承認を得て決定している。	4 (3) 2 1

① 課題

◦学校として、高校生への魅力ある学習内容・学校生活を考えなければ、国家試験の合格率だけでは特徴にならない。

② 今後の改善方策

◦学校生活をおくる学生の意見をよく聞くこと。

③特記事項

(8). 財務

8-1 中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか	
前年度決算報告および次年度予算状況から財政基盤は安定に向かっているとと言える。	4 (3) 2 1
8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	
予算の編成および執行に関しては寄付行為に定められており、また、財務諸表に関しては学校法人会計基準に従い作成し管理している。	4 (3) 2 1
8-3 財務について会計監査が適正に行われているか	
寄付行為に基づき監事が監査を行い、監査報告書を理事会および評議員会に提出している。また、通常の監査に加え中間監査を行い適正な財務管理を行っている。	4 (3) 2 1
8-4 財務情報公開の体制準備はできているか	
保護者などの学校関係者から情報開示請求があった場合には、理事会の承認を得た決算書を閲覧できるようにしている。	4 (3) 2 1

① 課題

◦生徒の減少傾向への対策。

②今後の改善方策

()

③特記事項

()

(9). 法令等の遵守

9-1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	
学校教育法及び専修学校設置基準等、関係法令や学内規程を遵守して、学校運営を行っている。	4 (3) 2 1
9-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	
個人情報に関しては、目的外使用とならないよう全教職員が共通認識を持って十分な配慮のもと扱っている。また、学外に流出することが無いよう原則として個人情報の学外持出しを禁止している。	4 (3) 2 1
9-3 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	
教職員全員が記入した自己評価シートに基づき問題点やその改善策を洗い出し、次年度の事業計画に反映させている。また、自己評価についても質の向上を図るため教職員からの意見提案を次年度に反映している。	4 (3) 2 1
9-4 自己評価結果を公開しているか	
自己評価の開示を求める方に対しては「自己評価報告書」を閲覧できるようにしている。	4 (3) 2 1

① 課題

()

- ・名簿や採点表、その他緊急連絡に関する物の取り扱いに気を付けた方がいい。
- ・パソコン等、個人情報の持ち帰り。
- ・問題点・改善策をどうするか。

② 今後の改善方策

()

- ・棚や机に片付ける・閉じるなど、基本的なところで心がける。また、教員同士でも注意し合う。
- ・個人情報の取り扱い方を決める。
- ・話し合いの時間をゆっくり取り、意見を出し合う機会をとること。

③ 特記事項

()

- ・学生アンケートを行ったが、開示されていない分があったり、アンケート記入時に学生の前に立ち、学生がアンケートを書けなかったりしていた。
- ・生徒びいきがあり、生徒が泣きながらその状況を訴えることもあった。

(10). 社会貢献・地域貢献

10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	
教室や実習室等を「休日および授業時間外」に一般開放している。	4 (3) 2 1
10-2 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	
年2回の献血運動や地域の福祉施設訪問など積極的に支援している。	4 (3) 2 1
10-3 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	
国家試験を受験する卒業生に対して、試験前の国家試験対策授業を公開し、そこに参加することを促している。	4 (3) 2 1

① 課題

- 既卒者の国家試験対策としては、サロンの理解が必要ではないか。
- 社会貢献することにより、学校PRにも繋げていく。積極性が無さすぎる。

② 今後の改善方策

- 資格取得に向け、連携をとる。
- 理容科が行っているボランティアカットの活動を地域の方々にも知っていただきたい。

③ 特記事項

- 田野町のボランティア活動は、卒業生からもやりたかったと声があったので良かったと思う。